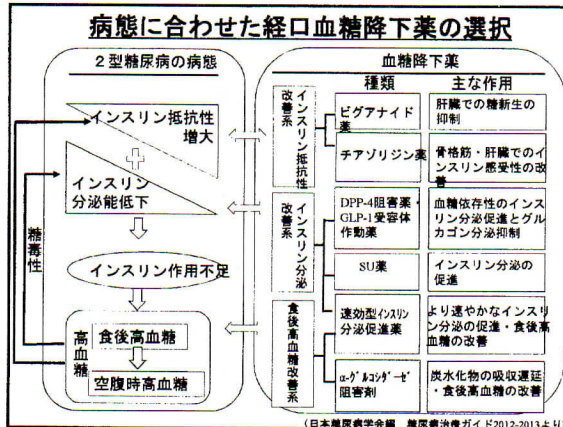
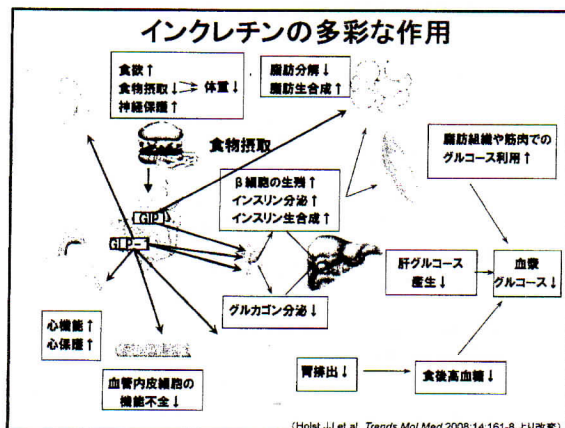
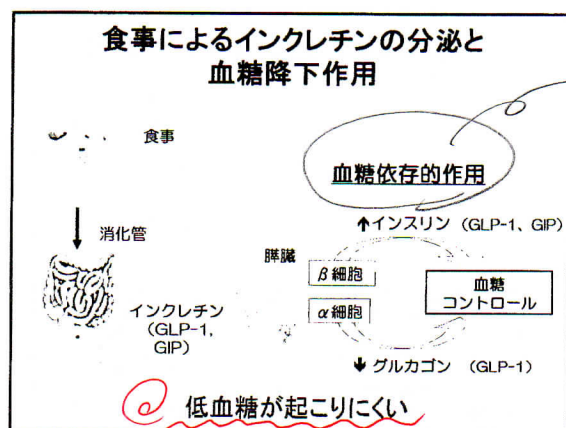
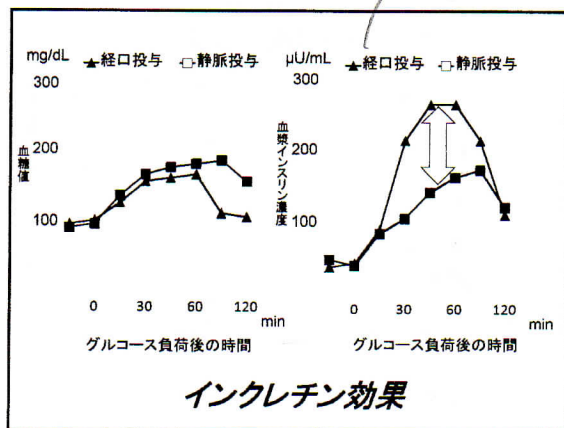




インクレチン(Incretin)

- ・Intestine seCRETion Insulin (腸管由来のインスリン分泌刺激因子)
- ・膵β細胞のインスリン分泌促進作用に関する消化管ホルモンの総称
- ・栄養素の摂取に伴い消化管から分泌
- ・代表的なインクレチンはGLP-1とGIPの2種類

GLP-1: glucagon-like peptide-1
GIP: glucose-dependent insulintropic polypeptide



インスリン療法の適応

絶対的適応

1. インスリン依存状態
2. 糖尿病性昏迷(ケトアシドーシス、高血糖性高浸透圧性昏迷)
3. 重症肝障害、腎障害を有する例
4. 重症感染症の併発、中等度以上の外科手術(全身麻酔など)の際
5. 糖尿病合併妊婦

相対的適応

1. インスリン非依存状態でも、著明な高血糖やケトシス傾向を認める場合
2. 経口薬では良好なコントロールが得られない場合 (SU薬の一次・二次無効例など)

・糖尿病はインスリン作用の不足によるため、ホルモン補充療法であるインスリン療法は絶対的な効果がある。

・他の薬剤と異なり、生理的機序で作用するため肝・腎障害を来さず、胎児にも安全である(一部のアナログ製剤を除く)。

↓
長期の安全性が
まだわからない